

ご あ い さ つ

平成 26 年 10 月 28 日に（一財）都市農地活用支援センター理事長に就任致しました、石原です。どうぞよろしくお願い致します。



ご承知のように、当センターは平成 3 年、主として大都市地域に所在する市街化区域内農地等の計画的利用による良好な住環境を有する住宅地形成と優良な賃貸住宅の建設等を行うための調査研究、事業支援や相談、居住環境の維持改善等を行うために設立されました。

当時は、バブル経済を背景として、住宅・宅地需要の著しい逼迫状況が見られ、都市農地を活用した計画的な宅地供給の必要性が高かったのですが、現在、我が国は、急激な人口減少、少子高齢社会へと突入しつつあり、まちづくりにおいても、これに適切に対応する必要があります。

国土交通省の社会資本整備審議会都市計画部会でも、今後、「集約型都市構造化」「都市と緑・農の共生」を目指すべきとされました。

都市農地については、災害時の防災空間確保、身近な農業体験・交流の場、緑地空間の提供など多様な機能があり、都市において適切に保全を図りつつ、同時に少子高齢社会において必要とされる都市住民のニーズに的確に応えることが必要であると思います。

現在の生産性と税負担のアンバランス、農業者の高年齢化等、都市農家を取り巻く営農環境には厳しいものがありますが、住宅と農地の共生するまちづくりのために何が具体的に必要なのか。国や各市町村、地域においてそのまちづくりのあり方を模索する動きが広がっています。

このような状況において、平成 25 年 4 月（一財）都市農地活用支援センターに移行した当センターは、住宅と農地の共生、都市農地の新しい利活用の方向等について、これまで蓄積してきたノウハウ・情報を活用すると共に都市農地活用アドバイザー等の専門家のご協力をいただき、調査・研究・提言や、専門家との連携強化、人材の育成、地域でのまちづくり支援等に積極的に取り組んでまいりたいと考えます。

皆様方の更なるご指導とご支援を心からお願い申し上げます、新任のご挨拶と致します。